

9月 行事予定

夢・希望・未来 笑顔いっぱい希望が丘！

日	曜	朝(初めの時間)	学校行事等
1	日		
2	月	読書タイム(ブックルズ)	3年発育測定 B 振鈴(13:05下校)
3	火	朝会	2年発育測定
4	水	朝学習	1年発育測定
5	木	原案説明会	個別発育測定
6	金	開校記念式	委員会活動 SC
7	土		
8	日		
9	月	読書タイム(ブックルズ)	幼稚園・保育園授業参観(5校時) A 特別振鈴(14:15下校)
10	火	朝学習	
11	水	朝学習	
12	木	朝学習	職員研修(全校5校時)
13	金	朝学習	クラブ活動
14	土		
15	日		
16	月	敬老の日	
17	火	希望っ子メロディ	
18	水	朝学習	
19	木	集会	校内授業研(3、6年5校時、それ以外4校時)
20	金	読書タイム	歯科巡回指導(2~6年・個別) 6年修学旅行保護者説明会 SC
21	土		
22	日	秋分の日	
23	月	振替休日	
24	火	体育集会(プール納め)	
25	水	読書タイム	
26	木	読書タイム	SSW
27	金	朝学習	
28	土		
29	日		4年上郷宿泊体験学習
30	月	読書タイム(ブックルズ)	4年上郷宿泊体験学習(4年10/1代休)

【8・9月の目標】

- ☆生活目標 けじめのある生活をしよう
- ☆保健目標 元気に安全に運動しよう
- ☆給食目標 後始末をきちんとしよう

お知らせ

☆総合防災訓練☆

8月30日(金)には、総合防災訓練を、授業中に震度5強以上の地震が発生したことを想定して実施しました。すぐーる配信や引取下校訓練等ご理解・ご協力ありがとうございました。今後も、ご家庭でも万ーに備え、集合場所や約束などを話し合っておいてください。

☆開港記念日☆

本校は、昭和27年9月1日に二俣川小学校の分校として創立し、授業を開始した9月9日を創立記念日としています。6日の開校記念式では、希望小の歴史やはじまりにちなんだクイズを通して、母校への愛情を養う取組を行います。

☆大縄集会☆

7月3日~5日に、大縄集会を実施しました。当日までに各クラスで目標を決め、本番まで取り組みました。本番では、ペア学年同士で応援したり、励ましたりする姿が見られました。今回の大縄集会で気付いた「成果や課題」を次に生かせるように、各クラスで取組を進めていきます。

☆児童支援専任から

夏休み明けのお子さんたちの様子はいかがでしょうか。児童支援専任は、子どもたち同士の問題解決やいじめ・暴力の未然防止の取組の推進、登校支援の中心的役割、スクールカウンセラー(SC)・スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)と連携しての教育相談活動の窓口、地域・幼保小中・児童相談所・警察・区役所・療育センター等との連携の窓口などを担っています。(本校では、久保 大教諭が担当) お子さんが、安心して学校に通うために、何かございましたら、いつでも学校へご連絡ください。

☆横浜子ども会議☆

「つながる、広げる、いじめ未然防止の輪」というテーマに向けて、7月22日に南希中ブロック会議(南希中、善部小、希望小)が行われました。希望小からは、高学年の代表者2名が会議で話し合いをしました。今年度は例年より早く、7月からあいさつ運動を開始しています。あいさついっぱいの学校にしたいという願いのもと、長期間継続して行っています。

☆スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)

学校での困りごとを抱えている子どもと家庭を支えるのが、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)で、「福祉」の専門職です。原則月に1回来校しています。スクール・ソーシャルワーカーの方と面談を希望される方は、児童支援専任が窓口となっています。何か気になることがございましたら、学校へご連絡ください。9月の来校日は26日(木)です。

☆スクールカウンセラー(SC) 来校日

6日(金) 9:35~16:15 20日(金) 9:35~16:15
相談を希望する方は、児童支援専任または副校長へご連絡ください。
045-391-0117

☆下校時の見守り協力をお願い☆

7月2日に関係機関・自治会会長・校外委員が集まり、スクールゾーン対策協議会を開催し、本校のスクールゾーンの危険箇所等を確認・改善要望を提示しました。本校のスクールゾーンは、通行量が多く、また、狭い箇所が多く見られます。下校時の児童の安全のためにも、保護者・地域の皆様にも、できる範囲で見守りにご協力いただきたいと思います。

学校だより



9月号

きぼう

2024年8月30日
横浜市立希望ヶ丘小学校

安全教育の大切さ

学校長 山本 美和

38日間の夏休みが終わり、希望ヶ丘小学校に子どもたちの元気な声に戻ってきました。8月27日の夏休み明けの初日は、体育館で朝会を行いました。暑い中でも集中して話を聞く、全校児童の態度が大変立派で、子どもたちの成長を感じ嬉しく思いました。各クラスの授業を見て回っても、落ち着いている様子が見られました。保護者の皆様も、生活リズムを整えてくださったことにも感謝申し上げます。

夏休み期間中は、子どもたちが大きな事故や事件に巻き込まれることなく過ごせたことも、校長として安堵しています。夏休み前日の朝会では、7月5日に区内で起きた川遊び中の死亡事故から、子どもたちに注意喚起をしました。放課後に、友達と公園で遊ぶことと同様な感覚で、当該地域の子どもたちにとって、川は日常の遊び場だったそうです。そのような場所で、今回の事故が起きたことは、本当に悲しく残念でなりません。このことから、子どもたちの危険予測・回避能力を育成する、安全教育の大切さを改めて痛感しました。

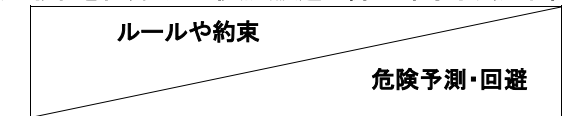
小学校の安全教育目標は、『生きる力』をはぐむ学校教育(文部科学省 平成31年3月)において、「安全に行動することの大切さや、『生活安全』『交通安全』『災害安全』に関する様々な危険要因や事故等の防止について理解し、日常生活における安全の状況を判断し、進んで安全に行動ができるようにするとともに、周りの人の安全にも配慮できるようにする。また、簡単な応急手当てができるようにする」と示されています。

『生活安全』については、日常の担任の指導に加えて、今年度は警察による犯罪防止教室を土曜参観に行いました。『交通安全』は、日常の担任の指導、また1、4年生には交通安全教室を行いました。『災害安全』は、毎月1回、火災も含め自然災害に対応する避難訓練を行っています。

安全教育は、各教科、道徳科及び総合的な学習、特別活動においても、それぞれの特質に応じて適切に行います。また、SNSに起因する犯罪や、性犯罪・性暴力などの対策についても、現在は安全教育に含まれてきています。これについては、日常の担任の指導に加え、今年度から学年ごとに「生命(いのち)の教育」を実施しています。土曜参観に行った、警察による高学年のサイバー教室も同様です。

低学年では、規範意識が高く指導を素直に受け止めるため、ルールを守る学習は有効です。高学年になってくると、心理的発達も進み、インターネット等の情報を活用して安全に関する判断材料にすることもできるようになります。発達とともに、「ルール・約束を守る」から「危険予測・回避能力の育成」に移行していきます。

安全教育を行う発達の視点(渡邊正樹 東京学芸大名誉教授)



発達

8月8日には宮崎県、9日には神奈川県西部でも大きな地震がありました。保護者の庇護の下で行動していた幼児期とは異なり、小学生は行動範囲が大きく広がります。それだけに多くの危険に出合う可能性が高くなり、自分自身で安全な行動を選択することが求められます。学校として、引き続き危険予測・回避能力をしっかりと育成していきたいと思っております。